

事務事業名	四ツ葉学園保育所運営事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課	
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G	教育・保育グループ	課長名	渡部 泰昌
	施策名	(25)子育て支援の充実	担当者名	桑山 真知子	電話番号	0854-40-1044 (内線) 2251
	目的 対 象	A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意 図	A)安心して子育てができる。B)心身ともに健やかに育つ。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 2 私立保育所運営事業 項 目 中事業 中事業名 1 0 2 0 0 2 四ツ葉学園運営事業
	基本事業名	(072)子育てと仕事の両立支援	意 図	子育てと仕事を両立できる。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	・四ツ葉学園保育所への入所申し込みがあった場合、受入れの可否を照会。可能な場合は、協議、委託契約締結などを経て入所承諾をし、保育料を徴収する。 実施責任を負う雲南市が四ツ葉学園保育所に保育の実施に要する費用を支弁する。委託児童数の増加に伴い、入所定員(90名→平成22年4月:100名)の増加。

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) ・委託先の四ツ葉学園保育所に実施費用を支弁する。	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) ・委託先の四ツ葉学園保育所に実施費用を支弁する。			
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 委託料支払回数	回	12	12	12	12
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	同園に保育を必要とする児童	ア 入所希望児童数	人	116	115	107	110
		イ 入所児童数(年度末)	人	114	113	107	110
		ウ 利用定員	人	100	100	100	100
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
保護者の職業の多様化による勤務時間の変化に柔軟に対応し、子育てしやすい環境をつくる。	ア 希望児童数に対する受入率(③イ/③ア)	%	98.2	98.3	100.0	100.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
保育委託料:116,667千円	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	38,011	41,987	48,048	55,719
【財源内訳】 国48,048千円(給付費) 県22,366千円(給付費、1・2子軽減、3子軽減) その他11,055千円(保育料)		県支出金	千円	21,003	21,346	22,366	26,025
		地方債	千円				
		その他	千円	14,668	14,650	11,055	6,542
		一般財源	千円	41,044	40,342	35,198	32,860
		事業費計(A)	千円	114,726	118,325	116,667	121,146
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1
	延べ業務時間	時間	107	107	107		
	人件費計(B)	千円	436	464	454		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	115,162	118,789	117,121		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・待機児童の発生 直近3年の状況(H31.4月0人,10月0人,H30年4月3人,10月9人H29年4月9人,10月17人) ・平成28年度私立保育所の全体の定員が30名増(あおぞら保育園) ・平成30年度立みなみかも保育園開園 ・令和元年度企業主導型保育園開園(ニチキッズ雲南) ・令和元年10月幼児教育保育無償化	・平成22年度定員増(90名→100名)	・保育所入所児童の増加に伴い、待機児童が発生しない対策が求められている。 ・四ツ葉学園としては経営の効率化から利用定員の縮小(100名⇒90名)を検討されている。

事務事業名	四ツ葉学園保育所運営事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	--------------	-----	--------	-----	--------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	入所基準(職員の配置・施設面積基準)について、児童福祉法等関係法令に基づき事業を実施しているため。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	児童福祉法に基づく措置制度のため
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		認可私立園に対して法令に基づき委託料を支払うため、統廃合・連携はできない。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		内閣総理大臣が定める基準により算出した費用の額を委託料としてを支払うため、改善の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		保育を必要とする児童を施設へ入所させることは市町村の責務とされており、施設入所希望があれば、必ず入所等の手続きを実施しなければならない。現在実施している事務手続きは必要最低限度の業務であり削減の余地なし。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		市内の居住者で保育を必要とする児童については、すべて対象となっているため偏っていない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 委託入所児童について、年々児童数が増加してきているので、待機児童が出ないように対応が必要となる。	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
国基準等に基づき現状維持で実施する。 待機児童の状況により、保育必要量を検討する。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			